

特選神名牒

大隅國五座

小四座

○桑原郡一座 大

鹿兒島神社 大

祭神 天津日高彥穗々出見尊

祭日

社格 官幣中社(官幣大社)

所在 宮内村(始良郡西國分村大字内)

○贈嶽郡三座 小並

大穴持神社

祭神 大穴持命

官幣 光仁天皇寶龜九年十二月甲申去神護中大隅國海中有神造島其名曰大穴持神至是爲社嵯峨天皇弘仁四年二月乙酉大隅國曾於郡造島神預幣帛例類聚國史以下

祭日 二月十三日九月廿九日十一月初午

社格 縣社

所在 國府郷小村(始良郡東國分村大字小村)

今按鹿兒島縣神社牒に當社より西北に當れる海中に小島

と云あり是即神造島なり今按に小島は神島の誤りなるべしかかれれば小村も神村の義ならむ云り

宮浦神社

祭神 神倭伊波禮毘古命

祭日 二月四日十一月十八日

社格 縣社

所在 福山郷宮浦村(始良郡福山村大字福山)

韓國宇豆峰神社

祭神 五十猛神

祭日 二月四日九月九日十一月中卯日

社格 縣社

所在 國分郷上井村(始良郡東國分村大字上井)

○馭謨郡一座 小

益救神社

祭神 天津日高彥穗々出見尊

祭日 二月四日六月十二月十一日十一月中卯日

社格 縣社

所在 屋久島宮之浦(熊毛郡上屋久村大字宮浦)

特選神名牒

薩摩國二座 小並

○穎娃郡一座 小

枚聞神社

祭神

今按明細帳に祭神大日靈貴とあれと神名帳頭注に枚聞和多美郡神一宮記に和多美郡社號枚聞神社鹽土老翁猿田彦神とみえ鷹島藩名勝考に奉祀豐玉彥夫妻東宮彥火々出見姉宮豐玉極聖宮鹽土老翁正上宮玉依姬云々九南島より本藩に來り歸るもの海上先始て此山を見るときは船中必酒を酌て遙に枚聞神を望祭すとあるにときは頭註は本社の主神を記し一宮記は相殿神をあやまりて記せるものに似たりかかれは祭玉豐玉彥神にて彥火々出見命も鹽土老翁も彼海宮の故事に緣由あるを以て合祭られたるものなるべし然るを天照大御神なる由云るは近頃云出たる説にて明證ある事なく且大神に神階を授け奉るべき理もあらねば從がたし

神位 清和天皇貞觀二年三月廿日庚午薩摩國從五位上開闢神加從四位下八年四月七日辛巳授薩摩國開闢神從四位上陽

薩摩國 穎娃郡 出水郡

成天皇元慶六年十月九日戊申授薩摩國從四位上開闢神正四位下
祭日 二月四日九月九日十一月中卯日六月十二月十一日
社格 國幣小社
所在 穎娃郷開闢嶽(排宿郡穎娃村大字十町)

○出水郡一座 小

加紫久利神社

祭神

今按鹿兒島縣神名帳に祭神天照大御神とあれど如何あらん正しき證なし猶よく考べし
神位 文德天皇仁壽元年六月戊午以薩摩國賀紫久利神預於官社清和天皇貞觀二年三月廿日庚午薩摩國從五位下賀紫久利神授從五位上七年五月廿五日乙巳授薩摩國從五位上賀紫久利神正五位下
祭日 二月四日六月十一日十一月四日十二月十一日
社格 縣社
所在 出水郷下鯖淵村加紫久(出水郡中出水村大字下鯖淵)